

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	豊中市立(仮称)北校・豊中市(仮称)	階数	地上4階
建設地	大阪府豊中市庄内幸町4丁目	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、22条区域	平均居住人員	2,060 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,780 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,学校,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2020年5月20日
敷地面積	26,431 m ²	作成者	類設計室
建築面積	11,584 m ²	確認日	2020年5月25日
延床面積	30,091 m ²	確認者	類設計室



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>公共歩廊(あいさつロード)は、高木・中木・低木を植樹し、緑豊かな計画とする。周辺への圧迫感を低減するために、高層部は、外壁面をセットバックする。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>居室の窓を大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な空間とする。使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>清掃性に配慮し、トイレ・配膳室・湯沸室などの水回りについては、ビニール系床材を採用する。階段を十分に確保し、設備機器等の更新に備える。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外装材(吹付)の彩度を低めに設定し、周辺のまちなみに馴染む色彩計画とする。室外機は、屋上に集約し、且つ、隣地境界線から離して設置する。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>日射遮蔽性を図り、断熱性能を高めるため、テラスの奥行を広く計画する。高効率空調を採用し、環境負荷の低減を図っている。LED照明を用いて省エネルギー化を図る。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>雨水貯留槽を設け、トイレの排水に利用する。衛生器具は、清掃の容易な節水型機器を採用し、限られた資源を有効に利用する計画とする。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>3、4階の高層部は、道路境界線よりセットバックした形状とし、圧迫感を低減する。ゴミの散乱を防ぐために、十分な容量の扉付のゴミ置場を計画した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0063

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	豊中市立(仮称)北校、豊中市(仮称)南部コラボセンター建設工事					
		建設地	大阪府豊中市庄内幸町4丁目					
		用途/区分	学校(小中高) 事務所 集会所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B+		
①	CO2削減	★★★★★			3			
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			3			
③	建物の断熱性	★★★★★			5			
④	エネルギー削減	★★★★★			3			
⑤	自然エネルギー直接利用				○			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.4	3		
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価			3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価			3.0			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0	5		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			2.8	3		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								